

平成 27 年度 河川レンジャー（下半期）活動報告

平成 28 年 3 月

高槻管内河川レンジャー	酒井 信行（3 期生）
	杉本 真一（6 期生）
	原 健二（7 期生）
山崎（大阪府域）管内河川レンジャー	福嶋 保雄（8 期生）
河川レンジャーアドバイザー	谷岡 寿和子
	中島 敏明
	吉川 正之

目 次

○酒井河川レンジャー（下半期）活動報告

- 1. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段 1
- 2. 第 11 回三島江草刈ワークキャンプ 5
 - ・平成 27 年 11 月 22 日(日)

○杉本河川レンジャー（下半期）活動報告

- 3. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段 7
- 4. 摂津峡水の安全ウォーク③ 9
 - ・平成 27 年 11 月 15 日(日)
- 5. たかつき川トークプロジェクト「水害から身を守る」 11
 - ・平成 28 年 1 月 25 日(月)～26 日(火)

○原河川レンジャー（下半期）活動報告

- 6. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段 13
- 7. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 15
 - ・平成 27 年 10 月 5 日(月)
- 8. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 18
 - ・平成 27 年 12 月 7 日(月)
- 9. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 21
 - ・平成 28 年 2 月 8 日(月)

○福嶋河川レンジャー（下半期）活動報告

- 10. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段 24
- 11. 地域で考えよう防災 26
 - ・平成 27 年 9 月 27 日(日)
- 12. ふれあい広場 28
 - ・平成 27 年 11 月 15 日(日)
- 13. 防災とボランティア訓練 30
 - ・平成 28 年 1 月 17 日(日)

○谷岡河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

- 14. 鶴殿ヨシ原保全活動 32
 - ・平成 28 年 1 月 9 日(土)～10 日(日)

○淀川管内河川レンジャー連携活動

- 15. 京都環境フェスティバル 2015 34
 - ・平成 27 年 12 月 12 日(土)～13 日(日)

○酒井河川レンジャー（下半期）活動報告

1. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

1.1 活動の目的

【河川の適正な利用の推進を図る活動】

1. 淀川の現状

- ①ラジコン飛行機、ゴルフの練習、バイクの河川敷への進入などの不法・迷惑行為が行われている。
- ②これらの行為は人目につかない場所で行われることが多い。
- ③全国の河川では水難事故が多発しており、淀川でも子供の水難事故が発生している。

2. 淀川の課題

- ①利用者が安全・安心して楽しく遊べる淀川を目指す。

3. 活動の目的

- ①利用者の安全・安心のための「抑止力の輪」づくりを行う。

【川づくり・人づくりへの参画・支援する活動】

1. 淀川・三島江の現状

- ①淀川は河川整備により治水・利水安全度が向上したが、
 - ⇒縦横断方向の連続性を分断
 - ⇒河川環境が劣化
- ②淀川水系河川整備計画の策定（2009年3月）
 - ⇒河川敷の切り下げによる水陸移行帯の創出など
- ③淀川河川公園基本計画の改訂（2008年8月）
 - ⇒ゾーン区分に応じた自然環境の保全、公園利用・施設の整備
- ④三島江切り下げ地区はパイロット的な箇所
 - ⇒淀川の河川敷切り下げ事業のパイロット的な箇所
 - ⇒三島江は公園計画では散策や観察などを通じて自然と触れあう
”水辺環境保全・再生ゾーン”に該当

2. 淀川・三島江の課題

- ①縦横断方向の連続性の解消による自然環境の保全・再生
- ②水辺の安全管理
- ③出水によるゴミの漂着問題
- ④自然環境の保全・再生への住民参画の拡大

3. 活動の目的

- ①住民の声を反映させた三島江切り下げ地区の整備・利用を実現する。
 - ⇒「三島江切り下げ地区意見交換会」の意見を反映した整備計画の作成
- ②三島江切り下げ地区の川づくりを、淀川における河川敷切り下げのモデル事業として、他の地区の事業に反映する。

1.2 活動の目標

【河川の適正な利用の推進を図る活動】

- Step1 不法迷惑行為のしにくい地域づくりをつくるため、安全指導・不法迷惑行為の調査・監視及びニーズの収集を行う。
- Step2 利用者に自己責任のもと、危険を回避する手段を会得して頂く。
- Step3 多様な監視をするための仕組みづくりを提案する。

【川づくり・人づくりへの参画・支援する活動】

- Step1 淀川と三島江の現状・課題を地域住民と河川・公園管理者で共有する。
- Step2 問題・課題に対するコンセンサスを図り、整備・利用のあり方を提案する。
- Step3 住民の意見が反映された切り下げ地区の整備計画を提案する。
三島江切り下げ地を住民参画による川づくりのモデル事業とする。

●活動内容【河川の適正な利用の推進を図る活動】

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①河川の適正な利用の推進を図る活動（高槻全管内） ・河川水辺での安全指導 ・不法・迷惑行為の調査・監視 ②河川に係わるニーズの収集					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①危険を回避する術を会得 ・利用危険度マップの作成 ②河川・公園管理者への危険箇所などの報告会 ③多様な監視をするための仕組みづくり ・河川利用見守り隊の設立準備					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①多様な監視をするための仕組みづくり ・河川利用見守り隊の結成（平成26年5月立ち上げ） ②利用見守り隊による安全指導・行為の調査・監視 ③「抑止力の輪」づくり					

●活動内容【川づくり・人づくりへの参画・支援する活動】

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1期		
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	<p>①三島江切り下げ区域意見交換会（第1段階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り下げ区域及び周辺ワンドの自然観察会の開催 ・水辺での安全指導での協働者をメンバーとして実施 ・現状と課題を協働者と河川・公園管理者で共有化 <p>②外来種等草刈り作戦、クリーンアップ作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミズヒマワリ、アズラクリスタータ等特定外来種の駆除 ・高木樹木・植物等の管理 ・冠水による漂着流木、ゴミの収集・処理 <p>③ワークキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川の草木での自然木工細工（刈草木の有効活用） ・芥川自然観察会の実施 	→		→		
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	<p>①意見交換会を提案型にステップアップ（第2段階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応のコンセンサスづくり ・河川・公園利用のあり方の提案 ・今後の課題の抽出 <p>「川に任せる」エリアでの人的管理の方法</p> <p>②三島江切り下げ区域の整備計画（第1期）の提案（H24）</p> <p>③淀川河川公園右岸地域協議会で、委員として本活動を今後の保全・再生及び公園計画に反映</p>	→		→		
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	<p>①意見交換会を維持管理・利用運営型にステップアップ（第3段階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな課題（樹木管理、ゴミ問題）に対するコンセンサスづくりの検討 ・維持管理及び安全利用のあり方を検討 <p>②第1期整備計画に基づき計画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柵、遊歩道など工事の実施、公園の新規開園（H24） <p>③三島江切り下げ地区の整備計画（第2期）の提案</p> <p>④三島江切り下げ地区を今後の淀川のお他地区のモデル事業として提案</p>	→		→		

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施日
河川の適正な利用の推進を図る活動	利用者の水辺での安全指導	平成 27 年 4 月 9 日、27 日 5 月 3 日、5 日、 10 日、11 日 14 日、17 日 6 月 8 日、29 日 7 月 12 日、19 日 8 月 8 日 9 月 27 日
	不法・迷惑行為の監視・指導	
川づくり・人づくりへの参画・支援する活動	自然再生への市民参画の仕掛けづくり	平成 27 年 5 月 23 日 8 月 23 日 11 月 22 日

2. 第 11 回三島江草刈ワークキャンプ

・平成 27 年 11 月 22 日(日)

2.1 実施状況

活動名	第 11 回高槻「三島江河川敷切り下げ区域」外来種草刈作戦活動	
活動分野	環境保全・自然観察・防災	
氏名	高槻出張所管内 酒井信行河川レンジャー	
連携等	団体との共催（団体名：IVUSA）	
活動日時	平成 27 年 11 月 22 日（日）8：00～16：30	
実施場所	（場所）淀川河川公園三島江切り下げ地、自然ワンド 	
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校)（団体名：高槻市立第七・第六中学校）	
参加人数	参加総数	70 名
	参加者	58 名 大人 49 名、子ども 9 名（龍谷大・関大・近大等の大学生）
	講師	1 名 ネイチャーたかつき 浜井信行
	スタッフ	6 名 原・雨嶋レンジャー、公園管理事務所 ネイチャーたかつき
	連携団体関係者	3 名 IVUSA(リーダー)3 名
	職員	名
	淀川河川事務所	1 名 高槻出張所長 金谷所長
	河川レンジャー運営事務局	1 名
スケジュール	8：30	開始 ・スタッフ集合（三島江駐車場）
	9：00	・酒井レンジャーによる本日の活動の主旨及び三島江の切り下げの説明と活動に当たっての注意事項の説明
	9：05	・IVUSA の学生による草刈カマの取り扱いの注意事項の説明
	9：25	・酒井レンジャーによる作業手順および作業範囲の説明
	9：30	・三班に分かれ担当場所の草刈の開始
	11：30	・午前の第一部の草刈を終了・昼食
	12：30	・午後の第二部におけるワークキャンプでの自然工作教室のためのテント設営及び机・材料等の準備
	13：00	・酒井レンジャーより第二部の開催の挨拶及び自然工作の講師、スタッフ「ネ

		イチャーたかつき」の3名を紹介 ・ 工作時の安全注意、万力等工作道具の使い方、工作の作り方等その都度指導（浜井講師 13:00～15:00） ・ 自然工作教室の開始 15：00 ・「淀川カップ」と称し自作の木工車による走行距離を競う大会を開始 15：30 ・IVUSAのリーダーによる「淀川」についての紙芝居 15：35 ・集合写真（草刈をした集積場前での写真） 15：50 ・アンケート調査 16：00 ・酒井レンジャーによる閉会の挨拶の後テント等を後片づけ 16：30 終了
配付資料		・ 第11回淀川河川公園、高槻「三島江河川敷切り下げ区域」外来種等草刈作戦プログラム ・ 国際ボランティア学生協会（IVUSA）案内チラシ
関係機関からの支援内容		・ 「シニア自然大学校高槻支部ネイチャーたかつき」から工作指導、工作機材の支援 ・ 高槻出張所より工作材料の支援 ・ 淀川河川公園事務所よりテント3張り、机5脚の支援 ・ 高槻市広報誌、ホームページに参加者募集掲載
河川レンジャーの活動内容	準備	10月27日：IVUSAと事前打ち合せ 11月11日：高槻出張所と事前打ち合せ 11月14日：IVUSA、ネイチャーたかつきと事前打ち合わせ、木の実採取
	当日	草刈り時の安全管理など活動上の諸注意の説明
	事後	意見、アンケートの整理、集計 12月14日：IVUSA、高槻出張所ふりかえり
参加者からの意見		・ 淀川について新しく学べたことがあって楽しかったです。 ・ 野鳥観察に行きたいと思いました。

2.2 活動状況



・ 酒井レンジャーによる活動の主旨及び注意事項の説明



・ 学生達による草刈り



・ 自然ワンドの法面ブロックの間に繁茂草を刈り取り



・ 参加者がワークキャンプで自作した木工車で走行距離を競う

○杉本河川レンジャー（下半期）活動報告

3. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

3.1 活動の目的

【現状と課題】

・子どもの「遊び方」の多様化や休日も塾や習い事へ通う割合が高いことなどから自然環境の場で遊ぶ子どもたちが減少している。学校では防災安全面から「川は危ない」との指導。

・近年の自然災害は増加傾向にあり、私たちの「防災」への関心が高まっている。地域での防災活動は増えつつあるが、学校現場での「防災教育」へのニーズが求められている。

【目的】

自然と「ふれあう場」が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習を実施します。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりに意識しながら、子どもの健全育成と淀川・芥川についての関心を高めていくことを目的とします。

また、幅広い世代の方へ淀川・芥川の魅力や想いを学び教え合う場を創出し、河川から地域の防災や自然環境、生活、歴史、文化などを学ぶことで、河川への理解を深めていくことを目指します。

3.2 活動の目標

Step1 河川にかかわる問題やニーズを把握する

Step2 レンジャー活動のネットワーク構築（他機関との連携）

Step3 レンジャー活動を通じて次世代育成（教え伝えるしくみ作り）

● 活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施 ・川と自然とのかかわりを理解する体験学習プログラム・参加者の募集や関係機関との調整 ② たかつき川トークプロジェクト ・河川に関する各テーマ（防災、自然環境、歴史、観光など）の交流会・川の安全、治水、環境を考える意見交流会 ●防災授業：小学校での出前授業（防災）					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・他機関との協力体制を構築する ・サポートスタッフの育成 ② たかつき川トークプロジェクト ・淀川でのウォーキングプログラムの実施 ●防災授業 ・継続的な活動に向けた教育委員会との協議 ・小中学校での出前授業実施に向けた取組					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の継続 ・「参加する側」から「教える側」へ学び合う場をつくる ② たかつき川トークプロジェクト ●防災授業 ・小中学校での出前授業（段階的学習）の確立 ・防災について調べたことを発表する場を創出					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施日
河川の適正な利用の推進を図る活動 河川に係わる文化・歴史の普及・啓発活動	高槻ジュニア河川レンジャー	平成 27 年 5 月 19 日 平成 28 年 3 月 26 日（予定）
	たかつき川トークプロジェクト	平成 27 年 9 月 13 日 11 月 15 日
防災・救護・救難の推進を図る活動	たかつき川トークプロジェクト	平成 27 年 6 月 30 日 平成 28 年 1 月 25 日、26 日

4. 摂津峡水の安全ウォーク③

・平成27年11月15日(日)

4.1 実施状況

活動名	摂津峡水の安全ウォーク③～川遊び安全マップ発表会～活動	
活動分野	防災・啓発	
氏名	杉本 真一(高槻出張所管内河川レンジャー)	
連携等	河川レンジャーとの協同・団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 協力：NPO 法人ノート 連携：摂津峡ロハスDAY実行委員会(事務局 高槻市産業振興課)	
活動日時	平成27年11月15日(日) 8:45～12:00	
実施場所	(場所) 摂津峡桜公園	
参加対象	地域住民(ロハスDAY来場者)、NPO 法人ノート(わくわく探検隊)	
参加人数	参加総数	32名
	参加者	20名 大人2名、子ども18名
	講師	—
	スタッフ	3名 NPO 法人ノート
	連携団体関係者	3名 摂津峡ロハスDAY 実行委員会
	府県・市職員	5名 高槻市産業振興課
	淀川河川事務所	—
	河川レンジャー運営事務局	1名
スケジュール	8:45	開始：JR 高槻駅前スタッフ集合
	9:00	・参加者受付、
	9:20	・杉本河川レンジャーによる本日の活動内容及び注意事項の説明
	9:15	・摂津峡に向けて市バスに乗車
	9:50	・塚脇バス停到着後摂津峡桜公園に向けて出発
	10:15	・桜公園において前回の活動で作成した「川遊び安全マップ」の3班に分かれて仕上げに取り掛かる。
	11:00	・各班による「川遊び安全マップ」のプレゼン発表
	11:20	・高槻市産業振興課における本日開催の「摂津峡フェスタ」に参加の皆さんに、発表評価をお願いする。(来場者投票総数70名)
	11:50	・結果発表、活動の振り返りシートの記入(参加児童)
	12:00	終了

配付資料		<ul style="list-style-type: none"> ・ 摂津峡川遊び安全マップ発表会 発表用シート ・ 高槻川キッズ調査隊 摂津峡川遊び安全マップ発表会 投票用紙 ・ 川キッズ調査隊～川遊び安全マップ発表会～ふりかえりシート
関係機関からの支援内容		ロハスDAY実行委員会：放送設備（マイク）
河川レンジャーの活動内容	準備	摂津峡ロハスDAY実行委員会事務局との打ち合わせ 現地下見（摂津峡桜公園）
	当日	会場設営及びプログラム実施 【当日来場者数 2000名】
	事後	関係機関への報告（挨拶）
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人たちにマップをみてもらってよかったです。 ・ 川のあぶないところとあんぜんなところがわかった ・ 川遊びができる場所がわかった ・ またマップを作りたいです ・ みんなの前ではっぴょうできてたのしかった

4.2 活動状況



・ 杉本レンジャーによる活動内容及び注意事項の説明



・ 前回作成した「川遊び安全マップ」の仕上げ風景



・ 川遊び安全マップの発表風景



・ 参加者による発表評価をお願いしている風景

5. たかつき川トークプロジェクト

・平成 28 年 1 月 25 日(月)～26 日(火)

5.1 実施状況

活動名	柱本の防災を学ぼう		
活動分野	防災		
氏名	杉本 真一（高槻出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催 （団体名：高槻市立柱本小学校）		
活動日時	平成 28 年 1 月 25 日(月)9：45～10：30、1 月 26 日(火)15：20～15：55		
実施場所	高槻市立柱本小学校：高槻市柱本新町 10-8		
参加対象	小学 5 年生		
参加人数	参加総数	55 名	
	参加者	52 名	校長、教頭、5 年担当教師 3 名、5 年生 47 名
	講師	—	
	スタッフ	2 名	NPO 法人ノートスタッフ（25 日 2 名、26 日 1 名）
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	26 日
スケジュール	25 日 9:45 10:00 10:20 10:30 26 日 15:20 15:30 15:50 15:55	開始、視聴覚室で校区周辺の写真観察、昔と現在の写真の対比 洪水写真の解説、宿題マイ防災マップ作成について：ルート確認、書き方注意 点 質問タイム 終了、解散 宿題マップ危険箇所の確認 日ごろからの注意点、自分の命は自分で守る意識の徹底 たかつきの防災テキストの説明 アンケート記入、終了、解散	
配付資料	マイ防災マップ記入シート、ルート記入地図、企画進行表(レジュメ：担当レンジャー作成)、たかつきの防災(リーフレット：高槻市危機管理室発行)		
関係機関からの支援内容	高槻市下水河川企画課、都市づくり推進課：都市計画図（白地図） 高槻市危機管理室：たかつきの防災		
河川レンジャーの活動内容	準備	柱本小学校との打ち合わせ 視聴覚室の下見、校区写真の撮影	
	当日	会場設営 プログラム実施	
	事後	関係機関へ挨拶 ふりかえりシートのとりまとめ	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の命は自分で守ることがわかった ・マイ防災マップを作って、あぶない所や暗い所をしっかりと知ってこれからの さんこうにしようと思った。 ・地図を見てみたら柱本ってあんなになってるんだなあと思いました。 ・いろいろな防災について知れた！ ・このマップはやくにたつと思った。 		

5.2 活動状況



レンジャーからマップ宿題の主旨について



宿題マイ防災マップの確認

○原河川レンジャー（下半期）活動報告

6. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

6.1 活動の目的

- ① 地域住民の淀川への接点は河川公園である場合が多い。魅力ある河川公園にすることが多くの淀川ファンをつくることに繋がり、住民参加の各種活動により住民の意見を取り入れた魅力ある淀川を実現することができる。
- ② 河川公園大塚地区には公園整備計画があり今後 4～5 年をかけて整備されることになっているが、地域住民からは大塚地区特有の河川公園へのアクセスの安全性確保や親水エリアの実現等多くの課題や要望もある。
以上の課題認識から地域住民と行政の橋渡し役となって淀川河川公園大塚地区公園整備計画のベストな実現を目指すことを活動の目的とする。

6.2 活動の目標

- Step1 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた課題抽出とその解決案の検討をするとともに自然観察や美化活動などのイベントを通して地域住民に関心を持ってもらう。
- Step2 課題解決のため設立したワーキンググループでの検討結果を具体的な提案書として作成する。
- Step3 ワーキンググループを継続するとともにより魅力的な河川敷実現に向けた新たな活用提案を作成する。

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1期		2期
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①淀川右岸大塚地区の現状調査 ・巡回や公園利用者アンケート調査により現状課題整理を実施するとともに河川・公園管理者との報告会により課題共有を図る。 ②自然観察会（バッタのオリンピック） ・河川敷の自然にふれあってもらうとともに参加者に公園整備計画の説明することにより感心を高めてもらう。 ③クリーンアップ活動 ・水辺をクリーンアップするとともに淀川の水質検査などを通して淀川環境に対して関心を高めてもらう。 ④地域住民との連携確立 ・地域住民会議へ河川レンジャーとしてメンバー登録し、地域住民と行政の橋渡しのベースとなる意見交換の場を確立する					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	①大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた課題解決ワーキンググループの設立 ・地域住民の公園へのアクセスの安全性確保や親水エリアの確保などの課題や要望に対してその解決にむけワーキンググループの中で住民や関連行政と一体となって取り組む。					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①ワーキンググループの継続 ・河川敷全般における課題抽出とその解決策を検討するとともに河川敷の新たな活用を検討する。 ②親水エリアの日常的な管理体制を確立する。 ・地域住民が主体となつての草刈りや清掃などの日常管理が定期的実施される体制を確立する。					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施日
河川の適切な活用を推進する活動	大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動	平成 27 年 4月27日 6月29日 8月24日 10月5日 12月7日 平成 28 年 2月8日
		平成 27 年 9月27日
河川の環境保全を図る活動	バッタのオリンピックの開催	平成 27 年 9月27日
	大塚地区水辺クリーンアップ活動 【高槻市域淀川本川・芥川クリーンアップ大作戦（仮称）】	平成 28 年 3月26日（予定）

7. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 ・平成 27 年 10 月 5 日(月)

7.1 実施状況

活動名	大塚地区河川公園整備計画のベストな実現に向けた活動（第7回課題検討WG）		
活動分野	啓発その他		
氏名	原 健二（高槻出張所管内河川レンジャー）		
連携等			
活動日時	平成 27 年 10 月 5 日（月） 17:30～19:15		
実施場所	●高槻市冠コミュニティセンター		
参加対象	地域住民・団体(地域団体)（団体名：河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGメンバー）		
参加人数	参加総数	8名	本人除く
	参加者	6名	課題検討WGメンバー
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	2名	寺内副所長、小林係長（河川公園課）
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	17:30	開始	
	19:15	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第7回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGアジェンダ ○高槻警察との打ち合わせ(堤防道路取り締まり強化要望書提出)議事録 ○淀川河川公園大塚地区公園整備計画説明資料（淀川河川事務所提供） ○第6回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG議事録 		

関係機関からの 支援内容		河川レンジャー事務局：資料のコピー等 淀川河川事務所：淀川河川公園大塚地区公園整備計画説明
河川レンジャーの 活動内容	準備	①第7回ワーキンググループ検討会資料作成 ②大塚地区堤防道路の実態調査
	当日	議事進行 1. 堤防道路横断の安全性確保に関する検討 ・高槻市警察への要望書提出報告 ・今後の進め方 2. 公園整備計画説明（淀川河川事務所） 3. その他 4. 次回開催日の決定
	事後	・活動報告書まとめ
討議内容や参加者からの意見、及び今後の取り組み		<p>【討議内容及び意見】</p> <p>1. 堤防道路横断の安全性確保に関して</p> <p>(1) 高槻警察への淀川堤防2号線の取り締まり強化要望（9/9実施済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望内容 <ul style="list-style-type: none"> ①交通規制の取り締まり強化 日曜休日の通行禁止/制限速度30Km/大型車両(積載3T)の通行禁止 ②170号線からの日曜休日の左折禁止看板の設置 ・取り締まりをした時の違反車両の処置のための待避場所として河川敷内に誘導できるか？ ⇒緊急車両の進入はできるが取締りの為の誘導は難しい(寺内副所長) ・日曜休日の堤防道路への進入を防ぐため枚方方面からの右折車線にパトカーを止めて侵入防止をマイクで徹底する方法が有効と思われる。いずれにしてもまずは取り締まりを実施していただくことが必要。 ・警察の対応は以前に冠コミュニティ協議会として話をした時と同じで取り締まりに関しても人手不足の理由で前向きに検討しようという姿勢が見えない。 <p>(2) 今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防道路の草刈に関して 国交省としては堤防道路への階段周辺の場所に限定して堤防道路際の草刈りを実施しているが、要望先の高槻市の動きが見えない為高槻市に確認をする。(杉原さん担当) 国交省の管理している堤防道路の資材待避場所周辺の雑草が生い茂っている状態で見通しも悪いととも防犯上も課題がある。 ⇒現場を確認して対応等検討する。(寺内副所長) ・堤防道路の交通取り締まり強化に関して 高槻警察に現状の検討状況を確認する。(原 担当) ・地域住民からアンケートを取った後の本検討会での検討状況を地域住民に回覧等での報告が必要。(報告書まとめ担当：原)

<p>討議内容や参加者からの意見、及び今後の取り組み</p>	<p>2. 大塚地区公園整備計画の説明（寺内副所長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚でのワーキンググループの活動が淀川河川公園整備計画（15地域）の現状進捗を含めた棚卸を実施するトリガーとなった。各地区とも課題があり大塚地区をモデル地区として他地域も含めて総合的に進める。 検討結果はまずは地域協議会にかけてその後地域住民の意見を聞く場として本WGの活用含めて対応することになる。 ・現在、河川公園としては三川合流の背割り堤地区の総合開発を実施しているのでその完成がH28年度末であり公園としての他の大きな工事の着手はH29年度以降になる。コンサル等での検討は随時進める。但し、それほど多額でない予算でできる河川公園への誘導のためのサイン設置や歴史資源の情報板等の設置はできるものから実施していく方向。 ・大塚地区の船着き場の土砂堆積は防災時の緊急活用も含めて大きな課題として認識はあるが、現状明確な方向づけができていない状況であり河川事務所としても継続検討していく。 ・親水エリアの設置は今後どの程度やればどれくらいの予算でできるかも含めて検討することになる。 ・鬼怒川の堤防決壊のこともあり治水に対する予算のウエイトが高まる中で公園に纏わる予算は削減される方向にあり、場合によっては草刈の頻度も下げざるを得ないことも考えられるが、その中で何がどうできるかを一緒になって考えていきたい。 ・当初はこのWGが組織としての位置づけが明確でない中でのスタートであったが、河川事務所の参画により公園協議会含めた役割が明確になった。 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャー活動に関して 現在の活動は陸上での活動が主になっているが、水上からの視点での活動も実施すべき。（Eボートでの淀川下りやウナギ取り等） ⇒ 今後の取り組みとして検討していく。 公園の中にある池の整備も自分たちでできる範囲で実施することも検討する。昔は池に入って遊ぶ子供たちもいたとのことで今後の活用も含めて考えていきたい。 <p>4. 次回予定 日時：2015年12月7日（月）17：30～19：30 場所：高槻市冠コミュニティセンター</p>
--------------------------------	---

7.2 活動状況



検討会の様子



淀川河川事務所からの公園整備計画の説明

8. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 ・平成 27 年 12 月 7 日(月)

8.1 実施状況

活動名	大塚地区河川公園整備計画のベストな実現に向けた活動（第8回課題検討WG）		
活動分野	啓発その他		
氏名	原 健二(高槻出張所管内河川レンジャー)		
連携等			
活動日時	平成 27 年 12 月 7 日 (月) 17:30~19:10		
実施場所	●高槻市冠コミュニティセンター		
参加対象	地域住民・団体(地域団体) (団体名：河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGメンバー)		
参加人数	参加総数	8名	本人除く
	参加者	6名	課題検討WGメンバー
	講師	—	
	河川レンジャー	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	2名	寺内副所長、小林係長(河川公園課)
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	17:30	開始	
	19:10	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第8回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGアジェンダ ○堤防植生の機能保持に向けた低草丈草種の導入について(河川財団研究発表資料) ○高槻警察への要望に対するフォロー ○堤防道路から生活道路を利用しての通り抜け状況 ○枚方大橋補修工事に伴う周辺道路への迷惑駐車 ○第7回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG議事録 		

関係機関からの 内容		河川財団：研究発表資料提供 河川レンジャー事務局：資料のコピー等
河川レン ジャーの 活動内容	準 備	①第8回ワーキンググループ検討会資料作成 ②大塚地区堤防道路等の実態調査
	当 日	議事進行 1. 堤防道路横断の安全性確保に関しての検討 ・高槻市、高槻警察への要望に対するフォロー ・今後の進め方 2. 堤防植生の機能保持に向けた低草丈草種導入に関して 3. 迷惑行為に関して 4. 次回開催日の決定
	事 後	・活動報告書まとめ
討議内容や参加者か らの意見、及び今後 の取り組み		<p>【討議内容及び意見】</p> <p>1. 堤防道路横断の安全性確保に関して</p> <p>(1) 高槻市への要望に対するフォロー（杉原さん）</p> <p>①堤防横断部での草刈の頻度アップ含めて視距の確保に向け検討する。</p> <p>②草刈の順番としては高槻市が道路際を実施したのち国交省が法面を実施する。</p> <p>③高槻市/高槻警察/国交省で堤防道路安全性に関して合同打ち合わせ開催に向け検討中。</p> <p>書面での回答で確認する。(12/8 入手済)</p> <p>(2) 高槻警察への要望に対する電話によるフォロー（原）</p> <p>①11/8（日）14:05～14:55で枚方方面からの右折車線を止めて日曜日の堤防道路への侵入禁止の指導を実施したとのこと。</p> <p>②今後、交通取り締まりに関しては交通指導係の大村係長と直接コンタクトして欲しいとのこと。</p> <p>(3) 今後の進め方</p> <p>・高槻市と高槻警察への定期的なフォローを継続していく。</p> <p>2. 堤防植生の機能保持に向けた低草丈草種の導入について</p> <p>・低草丈草種（イワダレソウ）の堤防への植生で雑草の進入を抑制することによる視認性の確保にむけた河川財団の検証実験報告の紹介(原)</p> <p>・河川事務所として大塚の堤防道路横断のための階段周辺に実験的に導入するような企画書を作成することを検討する。</p> <p>・初期段階でのメンテナンスとして抜根除草が必要であるが住民参加の活動として実施することも考えることができる。</p> <p>3. 枚方大橋補修工事に伴う周辺道路への迷惑駐車に関して</p> <p>・多目的広場での少年野球チーム保護者の車両が従来は緊急車両の進入路入り口に駐車していたが、枚方大橋補修工事用車両の為のゲートが設置されて駐車できなくなったため周辺の生活道路への迷惑駐車になっている。(工事は2016年6月30日までの予定)</p> <p>・公園管理者を通じて利用者に注意喚起を促すようにフォローする。(河川事務所)</p>

<p>討議内容や参加者からの意見、及び今後の取り組み</p>	<p>4. 本ワーキングの位置づけに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川公園地域協議会が開催されない中で本WGでの検討内容が明確に反映されるような対応が必要。 ・公園地域協議会としても計画作成だけで終わるのではなく、実施に向けてのフォローをする場でもあるべき。 ・他の公園整備計画地域では本WGのような取り組みがなされていない中で地域住民の生の声を聞く貴重な場として河川事務所としては参加を継続し、実施できるものは対応するとともに今後の検討に生かしていく。 <p>5. 大塚地区公園内の池の整備に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の河川レンジャーの活動として池の草刈等の整備を検討する。 <p>6. 大塚地区クリーンアップ活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/26（土）に芥川クリーンアップ大作戦と本格連携して実施する。前は南大冠東地区住民会議メンバーが中心であったが、次回は冠コミュニティ協議会からの参加も願います。 <p>7. 次回予定</p> <p>日時：2016年2月8日（月）17：30～19：30</p> <p>場所：高槻市冠コミュニティセンター</p>
--------------------------------	--

8.2 活動状況



検討会の様子



検討会の様子

9. 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動 ・平成28年2月8日(月)

9.1 実施状況

活動名	大塚地区河川公園整備計画のベストな実現に向けた活動（第9回課題検討WG）		
活動分野	啓発その他		
氏名	原 健二（高槻出張所管内河川レンジャー）		
連携等			
活動日時	●平成28年2月8日（月） 17:30～18:50		
実施場所	●高槻市冠コミュニティセンター		
参加対象	地域住民・団体(地域団体)（団体名：河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGメンバー）		
参加人数	参加総数	8名	本人除く
	参加者	6名	課題検討WGメンバー
	講師	—	
	河川レンジャー	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	2名	金谷所長、赤松係長（高槻出張所）
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	17:30	開始	
	18:50	終了	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 1. 堤防道路横断の安全性確保に関して ・堤防植生としての低草丈草種（イワダレソウ）の試験導入に関して ・高槻市、高槻警察へのフォロー 2. 大塚地区クリーンアップ活動に関して 3. 親水エリアに関して 4. その他 5. 次回開催日の決定 		
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第9回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGアジェンダ ○イワダレソウ試験施工地 ○第11回淀川・芥川クリーンアップ大作戦チラシ ○大塚地区水辺クリーンアップ活動チラシ ○大塚地区水辺クリーンアップ活動清掃箇所 ○大塚地区公園内池の活用 ○第8回河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG議事録 		

関係機関からの支援内容		河川財団：低草丈草種（イワダレソウ）の試験施工地情報提供 河川事務所：淀川河川公園利用マップ提供 河川レンジャー事務局：資料のコピー等
河川レンジャーの活動内容	準備	①第9回ワーキンググループ検討会資料作成 ②資料作成のための大塚地区巡回調査
	当日	議事進行 1. 堤防道路横断の安全性確保に関して ・イワダレソウ試験施工地見学に関して ・今後の進め方 2. 大塚地区水辺クリーンアップ活動に関して 3. 親水エリアとしての公園内池の活用について 4. 次回開催日の決定
	事後	・活動報告書まとめ
討議内容や参加者からの意見、及び今後の取り組み		<p>【討議内容及び意見】</p> <p>1. 堤防道路横断の安全性確保に関して</p> <p>(1) 堤防植生としての低草丈草種（イワダレソウ）の試験導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在試験施工されている大淀野草地区堤防川裏側法面の見学会を実施する。同時に毛馬閘門等の見学会も計画をする。4/20（水）の午後で関連部門と日程調整する。（担当：原） ・大塚地区での試験導入は出水期のこともあり早ければ連休前から実施できるかもしれない。（高槻出張所） <p>基本的には1か所の階段周辺になるので実施の場所を決める必要あり。最も横断頻度の高い場所や保育園児の河川公園へのルートに使われている場所等今後検討を進める。</p> <p>工事のイメージとしては堤防天端から法面2m程度の幅で30cm程度掘起こしてイワダレソウを植えることになるのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事をする場合は日曜日で堤防道路本来の規制である車両通行止めを高槻警察に徹底する必要あり。具体的な日程が決まれば規制の徹底を高槻警察に要望する。 ・次回のWGを4/11（月）に開催し、見学会や大塚地区での試験導入に関して詳細議論をする。 <p>(2) 高槻市、高槻警察への要望フォローに関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に新たな情報含めて進展なし。 <p>2. 大塚地区クリーンアップ活動に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/26（土）第11回淀川・芥川クリーンアップ大作戦の1会場として実施。 ・清掃場所に関しては堤防道路が高槻ハーフマラソン実施前にボランティアによる清掃が実施されてゴミが少ないのでより水辺に近いところでの実施を検討する。 <p>3. 親水エリアとしての公園内池の活用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池の雑草除去を進める前にこの池をどうしていくかという方向づけをする必要あり。出来た経過含めて行政側の考え方を明確にすべきである。 ・継続して今後の方向性含めて検討することとした。 <p>4. 次回予定</p> <p>日時：2016年4月11日（月）17：30～19：30 場所：高槻市冠コミュニティセンター</p>

9.2 活動状況



・検討会の様子（撮影者：原）



・検討会の様子（撮影者：原）

○福嶋河川レンジャー（下半期）活動報告

10. 平成 27 年度 河川レンジャー活動の目的と達成手段

10.1 活動の目的

島本町等の山崎出張所管内地域等において、淀川、桂川など河川とのかかわりを持つ人や管理する国・大阪府・市町村等の行政の方々との交流をする人は、多いとはいえません。これは、川へのアクセスの困難さや誘導の弱さに加え、利用者への広報不足等も一つの原因となっています。

この状況を改善しよりよい状況にすべく、地域の方々とのコミュニケーションで地域の川、桂川、淀川等と結ぶ活動、かかわる人の輪を広げる活動、興味をもって貰える活動を目指します。

実際に川を見て、触れあい、感じていただく活動を通じて、川のあり方、防災・減災への準備など、参加者自身に考えていただき、自ら活動されるきっかけづくりとなるよう活動を行います。

10.2 活動の目標

- Step1 河川レンジャーの認知度を高めるとともに、地域住民・行政の状況把握を行う
- Step2 各種河川活動、防災MAPづくりなど、河川レンジャーと住民、管理者が共同して活動する
- Step3 自主活動支援、行政との連携活動支援を行うことにより、地域住民から行政へ発信する仕組みを構築する

●活動内容

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	①河川レンジャーのPR推進 ②周辺地域の理解、状況把握（2年目） （高槻、大山崎、八幡、伏見区）					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 地域団体と防災MAPなどの協働作業の実現 ②地域企業、住民と川に親しむ活動の推進 ③住民、団体と行政組織のニーズのコーディネート					
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	①自主的に活動する人たちの支援 行政の支援を行うことにより 協働活動支援を行う					

平成 27 年度の活動一覧

活動分野	活動名	実施時期
⑧川づくり・まちづくりへの 参画・支援活動	諸団体との連携構築(適宜)	1～12月
	「ふれあい広場」：第二地区福祉委員会、島本町 支援 水質調査(H27/11月第二土曜日)	平成27年 11月15日
⑥河川に係わる歴史・文化の 普及・啓発活動 ⑨川の人材を育成する活動	葦笛づくり「YYワールド」(H27/4/下旬)	平成27年 4月26日
	「水無瀬川ウォッチング」：島本町 水質調査(H27/7/下旬)	平成27年 7月25日
①防災・救援・救難の推進を 図る活動 ⑦河川行政と地域・住民・住 民団体とのコーディネート を図る活動	「地域で考えよう防災」 セミナー、土嚢作り体験(H27/5/16土)	平成27年 5月16日 9月27日
	災害発生・対応状況啓発「島本町総合防災訓練」：島本町 水中歩行・水没ドア体験(H27/6/7日)	平成27年 6月5日
	「防災とボランティア訓練」防災パネル展示(H28/1/中旬)	平成28年 1月17日
②河川の環境保全を図る活 動	「桂川流域クリーン大作戦」の桂川から水無瀬川(大阪府)への 展開・実施	平成28年 2月28日
	親水検討報告(河床低下調査、さかなが棲む川に)(適宜)	5月～2月
⑦河川行政と地域・住民・住 民団体とのコーディネート を図る活動	淀川河川公園島本地区状況報告と意見交換 (三川合流、ゴルフ場跡地、公園整備)(H27/7～9月頃)	7月～9月
③河川の適正な利用の推進 を図る活動	河川利用者への安全指導、不法投棄の状況把握(適宜)	4～2月

11. 地域で考えよう防災

・平成27年9月27日(日)

11.1 実施状況

活動名	地域で考えよう防災セミナー 避難所開設準備		
活動分野	防災		
氏名	高槻・山崎出張所管内 福嶋保雄河川レンジャー		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名:島本町御所の内自主防災会)		
活動日時	平成27年9月27日(日) 10:00~12:00		
実施場所	<p>(場所) 島本町 御所の内自治会集会所 (大阪府三島郡島本町桜井4丁目9-12)</p> 		
参加対象	地域住民 団体(地域団体・学校・行政・企業など) (団体名: 島本町御所の内自主防災会)		
参加人数	参加総数	30名	
	参加者	30名	大人30名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川ジャ運営事務局	—	
スケジュール	9:45	開始	
	10:00	河川レンジャーの紹介	
	10:05	・パワーポイントによる解説	
		・河川災害の状況	
		・災害発生メカニズムの説明	
		・避難所の状況	
		・避難所開設にあたって留意することの検討	
	11:30	・質疑応答	
	12:00	終了	

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャー案内パンフ ・説明資料 	
関係機関からの支援内容	特になし	
河川レンジャーの活動内容	準備	島本町・御所の内自主防災会との実施内容調整
	当日	会場準備・講義・指導・片付け
	事後	関係機関と今後の計画打合せ
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨時の土砂災害などを考えると避難は必須となるのでよく考えたい ・今度の防災訓練で地域間の調整も行いたい。 	

11.2 活動状況



HUG事前準備説明風景



セミナー実施風景

12. ふれあい広場

平成 27 年 11 月 15 日(日)

12.1 実施状況

活動名	ふれあい広場		
活動分野	水利用		
氏名	福嶋 保雄（山崎出張所管内河川レンジャー）		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：島本町第二地区福祉委員会)		
活動日時	平成 27 年 11 月 15 日(日)10：00～12：00		
実施場所	水無瀬川東大寺河川公園（島本町東大寺 3 丁目）		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	100 名	
	参加者	50 名	
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	50 名	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	—	
スケジュール	10：00	開会式 河川レンジャーブースにて、パックテストの説明と実習、および河川レンジャー活動、水無瀬川・淀川の状況説明	
	12：00	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	【島本町】机 2 台、椅子 1 2 脚 【淀川河川事務所】パックテスト		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書立案 ・島本町、関係団体の出展調整、打ち合わせ ・ブース設営 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース運営 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース撤収 ・運営反省会 ・報告書まとめ 	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・水無瀬川の自然と自分たちの生活の関係が少しわかった ・水質が簡単に図れることにびっくりした ・日程が順延になり、農業祭とかぶったために、人が少なくて残念だった 		

12.2 活動状況



パックテスト体験

13. 防災とボランティア訓練

平成 28 年 1 月 17 日(日)

13.1 実施状況

活動名	島本町「防災とボランティア訓練」		
活動分野	防災		
氏名	福嶋 保雄 (河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	-		
活動日時	平成 28 年 1 月 17 日(日) 9:00~12:30		
実施場所	島本町立 第三小学校 (大阪府三島郡島本町桜井 2 丁目 25-1) (グラウンド、体育館)		
参加対象	一般 (島本町民)		
参加人数	参加総数	500 名	(「防災とボランティア訓練」参加総数 500 名)
	参加者	500 名	
	講師	-	
	スタッフ	-	
	連携団体関係者	-	
	府県・市職員	-	
	淀川河川事務所	-	
	河川レンジャー運営事務局	-	
スケジュール	9:00	開始 ○防災に関するパネル展示解説 ・鬼怒川堤防決壊の発生状況、対策状況について ・桂川緊急対策状況について 他	
	12:30	終了	
配付資料			
関係機関からの支援内容	【島本町】 ・災害ボランティア訓練へのブース出展許可		
河川レンジャーの活動内容	準備	・企画書立案 ・島本町、関係団体との出展調整、打合せ ・ブース設営	
	当日	・ブース運営	
	事後	・片付け ・報告書作成 ・各協力者へ事後のお礼	

<p>参加者からの意見</p>	<p>展示を見て防災などの活動にすごく興味を持てた。 河川レジャーはどのような活動をしているのか教えてほしい 防災士と似た活動なのか？</p>
-----------------	---

13.2 活動状況



出展ブース全景



○谷岡河川レンジャーアドバイザー（下半期）活動報告

14. 鵜殿ヨシ原保全活動

・平成28年1月9日(土)、10日(日)

14.1 実施状況

活動名	鵜殿ヨシ原 ヨシ刈り体験		
活動分野	環境保全・自然観察		
氏名	谷岡 寿和子(河川レンジャーアドバイザー)		
連携等	団体との共催・他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：鵜殿ヨシ原研究所、鵜殿クラブ)		
活動日時	平成28年1月9日(土)、10日(日) 10:00~15:00		
実施場所	淀川河川事務所 山崎出張所、鵜殿ヨシ原 		
参加対象	淀川管内河川レンジャー 団体(地域団体) (団体名：鵜殿ヨシ原研究所、鵜殿クラブ)		
参加人数	参加総数	43名	
	参加者	8名	・1/9 6名 (出来R、福嶋R、澤井GR、雨嶋R、雨嶋R家族2名) ・1/10 2名(玉井R、池田GR)
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	35名	鵜殿ヨシ原研究所、鵜殿クラブ
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	—	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始(山崎出張所) ・活動趣旨、注意事項説明 ・鵜殿ヨシ原研究所 小山弘道 所長挨拶	
	10:10	ヨシ原へ移動	
	10:40	ヨシ原到着 ・活動内容、工程説明 ・準備体操	
	10:50	ヨシ刈り開始 ・ヨシ刈り、刈りヨシ集草 ・刈りヨシの中から混ざったオギとの分別	
	12:00	休憩	
	12:30	ヨシ刈り再開 ・分別したヨシを運搬のため裁断、荒縄で結束	
	13:10	山崎出張所へ移動	
	14:20	山崎出張所到着	

	15:00	・保管場所へ収納 終了
配付資料		<ul style="list-style-type: none"> ・「鶺鴒を遊ぶ（パンフレット、鶺鴒と市民活動の紹介）」（鶺鴒ヨシ原研究所） ・「淀川自然画報 No. 16」（毛馬出張所管内：石山 R 発行） ・「平成 25 年度 鶺鴒ヨシ原全体の植生状況について」（淀川環境委員会資料抜粋） ・「河川レンジャーNews No. 33」 ・ヨシ紙製品（河川敷の草本資源の現代の活用事例紹介）
関係機関からの支援内容		<ul style="list-style-type: none"> ○鶺鴒ヨシ原研究所：ヨシ刈り指導 ○鶺鴒クラブ：わら縄、ヨシ紙製品の提供 ○天理大学雅楽部：1/10 雅楽の演奏 ○淀川河川事務所：剪定はさみ貸与、山崎出張所敷地利用許可
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○実施計画検討 ○実施に向けた連携団体、山崎出張所、河川レンジャー事務局との調整 ○下見、打合せ、用具類の準備
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ○運営（行程管理、安全管理 他） ○協力団体の参加者に、河川レンジャー活動の紹介、宣伝
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ○活動報告とりまとめ ○協力団体の 2 月の活動で、河川レンジャー活動を紹介、宣伝
参加者からの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーと直接、話したことで活動への興味が深まった。 ・ヨシなど自然素材の工作を、やってみたいと思っていましたが、材料集め、収穫できるのは、年に 1 ヶ月の限られた時期とは知らなかった。 ・レンジャーさんの準備はヨシの刈り取りから始まっていると初めて知りました。

14.2 活動状況



鶺鴒ヨシ原・ヨシの生態の解説、ヨシ刈り指導（谷岡 RA）



ヨシ刈り状況



刈りヨシ集草



分別したヨシを運搬のため裁断、荒縄で結束

○淀川管内河川レンジャー連携活動

15. 京都環境フェスティバル 2015

・平成 27 年 12 月 12 日(土)～13(日)

15.1 実施状況

活動名	京都環境フェスティバル 2015		
活動分野	広報		
氏名	池宮河川レンジャー・川嶋河川レンジャー・出来河川レンジャー・原河川レンジャー 東河川レンジャー・松方河川レンジャー・中村河川レンジャー・山田河川レンジャー 田中河川レンジャー 仁枝河川レンジャーアドバイザー、福井河川レンジャーアドバイザー（管内全域）		
連携等	他団体の活動(行事)への出展等 (団体名：京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター)		
活動日時	平成 27 年 12 月 12 日(土)、13 日(日) 10:00～16:00		
実施場所	京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 〒612-8450 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5		
参加対象	地域住民		
参加人数	参加総数	774 名	
	参加者	767 名	1 日目 352 名、2 日目 415 名
	講師	—	
	スタッフ	—	
	連携団体関係者	—	
	府県・市職員	—	
	淀川河川事務所	3 名	淀川河川事務所
	河川レンジャー運営事務局	4 名	
スケジュール	10:00	開始	
		<ul style="list-style-type: none"> ●環境ゾーン ・京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説 ・自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛） ●防災ゾーン ・平成の水害パネル展示・解説（平成 25 年台風 18 号時の航空写真パネル） ・簡易水防工法の展示・解説 ●河川レンジャーに関するパネル展示・解説 	
	16:00	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「第 8 回桂川流域クリーン大作戦」パンフレット ・実施予定の河川レンジャー活動案内 		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所・・・出展備品等一式の貸与、運搬 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・出展に向けた企画会議の開催 ・出展に向けた申請等各種調整 ・出展ブース設営作業（12 月 11 日(金)） 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ■当日運営のスタッフ打合せ ■ブース運営 ・京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説 ・自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛） ・平成の水害パネル展示・解説（平成 25 年台風 18 号時の航空写真パネル） ・簡易水防工法の展示・解説 ・河川レンジャーに関するパネル展示・解説 ・水生生物展示水槽の水換え ・出展ブースの撤収作業 <p>以上を河川レンジャー、河川事務所、河川レンジャー事務局で実施</p>	

	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成
参加者からの意見		<p>【京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川にまだこんなに種類の魚がいるとは知らなかった。昔より川が汚れて、 ・魚は減っていると思っていた。 ・子供の頃魚とりをしたのが懐かしく思い出した。 <p>【自然材を使った工作体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨシ」についてどのような植物か勉強になった。（葦簀、水質浄化、雅楽の楽器の一部になるなど） ・難しかったけど楽しかった。 ・鶴殿や向島以外にもヨシは淀川で生息しているのか。 <p>【淀川の水害航空写真パネル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年の台風 18 号はすごかった。思い出す。 ・今年も鬼怒川の被害があり、雨の降り方が急で怖い。 <p>【簡易水防工法の紹介】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭にあるものでの工夫、勉強になった。 <p>【河川レンジャーに関するパネル展示・解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーのことをはじめて知りました。 ・行政が地域の方と一緒にこんな取り組みをしているとは知らなかった。 ・「河川レンジャー」と耳にしたことはあったが、活動の情報を知る方法が判らなかった。知るにはどうしたらいいですか？ ・魚とりなどの自然観察の活動に子供と参加してみたい。

15.2 活動状況



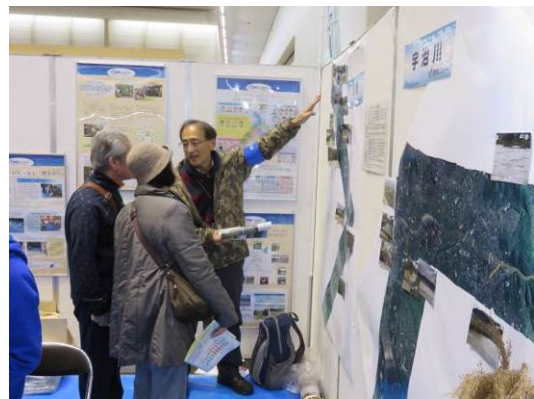
出展ブース全景



京都府域三川（宇治川・木津川・桂川）に生息する水生生物の展示・解説



自然材を使った工作体験の指導（ヨシ笛）



平成の水害パネル展示・解説